

## 研究主題 喫緊の教育課題に対する実践的な教育内容・方法について ～ 喫緊の教育課題及び実践例について理解を深め各学校における学校経営に生かす ～

### I 団体の概要

東京都知的障害特別支援学校長会主催研修会は、東京都立特別支援学校(知的障害)の校長45名で構成されている。毎月行われている校長連絡会と同日に研修会を開催し、喫緊の教育課題について共通理解を図っている。併せて喫緊の教育課題に対する各校の先進的な実践事例について情報交換を行い各校における学校経営に生かしている。

### II 研修の目的

学校を取り巻く環境は急激に変化し、喫緊の教育課題が山積している。課題解決を図るため、管理職のリーダーシップの下、各学校において、課題を共通理解し、具体的な対応策を検討して組織的・機動的に実施していくことが求められている。

本団体では、喫緊の教育課題を学校間で共有するとともに、教育課題に対して先進的な取り組みを行っている学校が具体的な実践内容・方法を紹介し、本会員が、その事例を参考に各学校の教育活動の充実に図ることを目的としている。

### III 研修の方法

東京都の研究指定を受けている学校を中心に、毎月1校から2校が具体的な課題と課題解決に向けた取り組みを本研修会で報告する。全体会で、質疑応答をして理解を深める。その後、学校に設置されている学部ごとに3班に分かれて、報告内容に基づきさらに深めた情報交換を行い、その内容を各学校の学校経営に生かしている。

### IV 研修内容

#### ◆ 実践報告（実践報告・情報交換・実践研修・還元研修）

回	実施日	テーマ
1	6月4日(火)	八王子南特別支援学校開校後の状況について
2	7月2日(火)	知的障害特別支援学校における医ケア専用車両の運行状況等について
3	8月28日(水)	精神科医と考える保護者等のメンタル面に配慮した学校トラブル対応～精神的医学からの観点でのトラブル防止策～
4	10月8日(火)	しいの木特別支援学校分教室化への整備状況について
5	11月5日(火)	学習者用デジタル教材の開発研究指定校の事業報告
6	12月3日(火)	高等部における一人1台端末を用いた指導内容・方法の開発研究指定校の事業報告
7	2月13日(木)	体育健康教育推進校の事業報告(体力の向上と健康づくり、卒業後につながる指導へ)
8	3月4日(火)	年間のまとめ

## V 研修事例（実践研修）

### 【テーマ】「精神科医と考える保護者等のメンタル面に配慮した学校トラブル対応」

東京都知的障害特別支援学校長会は、学校経営をより良く進めていくために、児童・生徒指導の充実や教職員の職務の達成感の向上、保護者や関係機関との適切な連携等に日々取り組んでいる。そのような中で、学校における様々な課題対応への知識を深めるために、今年度も「保護者等の対応の充実」を目的として、令和6年8月28日（水）に実践研修会を実施した。

今年度の講師には、精神科の医師として教職員のメンタルヘルスや学校トラブルに長年に渡って尽力され、教育現場への支援を続けてこられた元三楽病院精神神経科科長、現在、「上野広小路メンタルクリニック」院長の佐藤克彦先生をお招きし、御講演いただいた。

講演は、精神医学の観点から考える学校トラブルの未然防止策について、学校を取り巻くすべての人との関わりに必要な知識を取り上げた。具体的には、①「様々なパーソナリティーの傾向や障害特性の理解と対応のポイント」、②「トラブルが起きた時の対話の在り方」である。

①「様々なパーソナリティーの傾向や障害特性の理解と対応のポイント」の講演では、境界性パーソナリティー障害、自己愛性パーソナリティー障害、反社会性パーソナリティー障害、自閉症スペクトラム障害について、各障害の理解のポイント、対応のポイントについて資料を基に説明をしていただいた。

②「トラブルが起きた時の対話の在り方」の講演では、医療事故の際の患者等との対応事例（5事例）を基に、学校での保護者等とのトラブル発生時の対応方法（相手の実態に合わせた対応（発言）方法、面接の際にどのような姿勢が適切か）について解説をしていただいた。

講演後半では、学校でのトラブルの防止や解消のために、保護者等からの苦情や要望にどのような姿勢でどう回答すべきか、直接、事例検討や意見交換を行う場を設定し、具体的に考え、共有する機会となった。

### 【講師著作物】

「弁護士と精神科医が答える 学校トラブル Q&A」  
「教師の復職支援」等



## VI 研修の成果と課題

東京都の研究指定を受けている学校の取り組みを中心に報告を行ったことで、先進的な取り組みをいち早く共有することができた。また、情報共有を進めていく中で、各学校の取組や課題を知り、自身の学校経営を振り返り、紹介された実践を自分の所属する学校に取り入れ、方針や考え方を学校経営に生かすなど、専門性の向上、学校の教育力の向上に役立てることができた。

課題としては、校長連絡会の後の開催ということで、開催時間も限られており、実践報告に対する質疑応答を行って情報共有を行ったり、各班に分かれて情報共有を行ったりする等の時間を十分に確保することができなかった。

夏季休業中に講師を招聘し実施した「精神科医と考える保護者等のメンタル面に配慮した学校トラブル対応」をテーマとした実践研究会は、具体的に非常に有意義であったことから、今後も変化の激しい昨今において、適時な教育課題を取り上げ、知的障害特別支援学校の教育の充実・発展のための研修に取り組んでいく。

### <令和6年度連絡先>

団体名		東京都知的障害特別支援学校長会主催研修会
代表者	所属	東京都立羽村特別支援学校
	職 氏名	校長 井上 一仁
	連絡先	042-554-0829
事務局	所属	東京都立田園調布特別支援学校
	職 氏名	校長 川崎 淳子
	連絡先	03-3721-6861